

科目名 (英)	導入教育 First Year Experience	年次	1	実務経験	担当	相馬 ひかり
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科	トータルビューティ科	単位	2	有	開講区分 曜日・時間	前期 集中授業
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います					
目的 科目概要	目的意識を高め、プロに必要なことが何か確認する。同じ目標を持った仲間との相互支援環境を作る。					
到達目標	プロの職業人を目指すにあたり、美容業界に必要な基礎知識・業界情報を理解し、自分が目指す職業選択を決定する。 仲間とのコミュニケーションを深め、自分から「笑顔であいさつ」ができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	Hand-book of Life Style		事前事後 学習と その内容		スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に付けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	美容のプロを目指す上で①	オリエンテーションや導入教育を振り返り、目標を再確認する。 目標に向けてカリキュラムの必要性を明確化し、理解することができる。
2	美容のプロを目指す上で② ～学校ルールの再確認と業界研究～	学校ルールを再確認し、スムーズに学校生活を送れるようになる。 業界研究について学び、将来の準備ができるようになる。
3	職業研究	トータルビューティの仕事内容を理解する
4	業界研究①	トータルビューティの仕事に就くための流れを理解し、方法を学ぶ
5	業界研究②	トータルビューティの仕事の調べ方を学び、業界の知識を深めることができる
6	現場実習について	現場実習の流れやルールを理解し、実習に必要な社会人マナー・主体性・コミュニケーション力を身に付けることができる
7	中間試験	入学してからを振り返り、学んだこと・今後身に付けていきたいことをまとめる
8	美容のプロを目指す上で③ ～現場実習と今後の目標設定～	入学時の目標を振り返り、現時点での目標を再設定する 現場実習についての注意点を確認し、現場実習に臨む心構えができるようになる
9	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
10	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な技術を学ぶ
11	夏休みにあたっての注意事項	長期休暇を過ごすにあたり、今後やるべきことを整理する
12	グループ学習(夏休みの課題の振り返り)	グループ学習を通して、発表する力を身に付ける 職業理解を深めるために、体験学習の意図を理解し主体的に授業に参加する
13	プロの職業人を目指すにあたって③	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を学ぶ
14	業界研究③	業界について様々な視点から調べ、業界を理解する
15	定期試験	入学してからを振り返り、後期に向けやるべきことを理解する

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I Career Development I	年次	1	実務経験	担当	相馬 ひかり
		授業形態	講義			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	金曜日2限
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。 ②就職活動が活発になり、意欲的に取り組むことができる。 ③自己発見を行い、希望の就職先への内定に繋げる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書						
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル			事前事後 学習と その内容	自身の時間管理・体調管理を整えて授業に臨みましょう。 グループワークでは自身の発表を進んで出来るように準備をしておきましょう。	
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	学則について理解する①	守るべき学校のルール
2	クラスコミュニケーション	目標設定・クラスコミュニケーション(クラス会議)
3	学則について理解する②	守るべき学校のルール
4	クラスコミュニケーション	目標設定・クラスコミュニケーション(クラス会議)
5	特別授業①	業界で活躍する卒業生の話を間近で感じ、自分が目指す職業の選択肢の1つにする
6	ベルリンピックについて	ベルリンピックの作戦をクラス会議で行い、チームメンバーとしての役割を知りクラスマネジメントを行う
7	中間試験	中間試験/20点満点(1-6回目のまとめ)
8	特別授業②	業界で活躍する卒業生の話を間近で感じ、自分が目指す職業の選択肢の1つにする
9	交流会	交流会
10	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
11	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
12	プロの職業人を目指すにあたって③	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
13	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇に向けて準備しておきたい項目を理解する
14	定期試験	定期試験/50点満点(8-14回のまとめ)
15	特別授業③	業界で活躍する卒業生の話を間近で感じ、自分が目指す職業の選択肢の1つにする

科目名 (英)	フェイシャルエステ Facial Esthetics	年次	1	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	火曜 1・2限
講師紹介	国内外のエステティックサロンで経験を積み、フェイシャルトリートメントを行う上で必要な知識と技術を丁寧に分かりやすく教える。トリートメントを行うことで、肌や心がどのように変化するのか体感しながら授業に参加してほしい。					
目的 科目概要	目的:フェイシャルエステの基礎理論と基礎技術を身につける。 概要:クレンジング、フェイシャルマッサージを正確に行うための理論と実技を学ぶ					
到達目標	汚れを残すことなく肌に負担をかけずにクレンジングが出来る。 フェイシャルマッサージの6手技を習得し、正確にマッサージが出来る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 提出課題					
教科書	認定フェイシャルエステティシャン 理論と技術		事前事後 学習と その内容 事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。			
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	トリートメントの概要 事前準備の仕方	この授業の概要と進め方について ワゴン、ベットセッティングの仕方、ホットタオルの作り方、手指消毒の仕方
2	フェイシャル基礎理論 モデルの誘導の仕方	クレンジングの目的と手法について、クレンジングに必要な用具、備品の説明 モデルの誘導、ターバンの巻き方の技術を習得する
3	皮膚のしくみと働き クレンジング①	皮膚の役割 ポイントメイク落としの技術を習得する
4	皮膚のしくみと働き クレンジング②	皮膚の構造(表皮) ベースメイククレンジング、スポンジ拭き取りの技術を習得する
5	皮膚のしくみと働き クレンジング③	皮膚の構造(ターンオーバー、真皮) クレンジング～スチームタオル拭き取り技術を習得する
6	皮膚のしくみと働き クレンジング④	皮膚の構造(皮下組織、皮膚の付属器) クレンジング～スチームタオル拭き取り技術を習得する
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	マッサージの基礎知識 フェイシャルマッサージ①	マッサージの目的効果、禁忌事項 マッサージ剤塗布～軽擦法の技術を習得する
9	マッサージの基礎知識 フェイシャルマッサージ②	マッサージの基本6手技の手法と効果 マッサージ剤塗布～軽擦法の技術を習得する
10	マッサージの基礎知識 フェイシャルマッサージ③	マッサージに関する骨・筋肉 マッサージ強擦法、揉擦法の技術を習得する
11	肌タイプについて フェイシャルマッサージ④	肌タイプの種類と特徴 マッサージ打法、振動法、圧迫法の技術を習得する
12	美しい肌について フェイシャルマッサージ⑤	美しい肌の条件とは マッサージ6手技の技術を習得する
13	クレンジング～マッサージ①	クレンジング～マッサージまでを効果的に行う
14	クレンジング～マッサージ②	クレンジング～マッサージまでを効果的に行う
15	定期試験	8から14回までの授業の理解度を確認する

科目名 (英)	セルフビューティ self beauty	年次	1	実務経験	担当	門脇 真由理
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	火曜 3・4限
講師紹介	MAC で6年間美容部員として勤務後、フリーのメイクアップアーティストとして、様々な現場を経験し授業に活かす。					
目的 科目概要	メイクやスキンケアに関する基礎から応用までの知識を学び、セルフビューティの向上を図る。普段行っているメイクに加え、トレンドメイクや新しい美容知識を取り入れながら、美容のアップデートを行う。また、自分に合うメイクやスキンケア方法について理解を深め、セルフビューティの幅を広げることを目的とする。					
到達目標	メイクやスキンケアに関する基礎知識を理解し、自分に合った美容方法を説明できるようになる。また、トレンドメイクや応用的なテクニックを取り入れながらセルフメイクを実践し、セルフビューティの向上につなげることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験 ■提出課題					
教科書						
教材	ipad	事前事後 学習と その内容	毎日違うメイクをしてみる ファッションや雰囲気に合わせてメイクを変えて自分の引き出しを増やす			
特記事項	アナウンスがない限りノーメイクで来ること セルフでも忘れ物がないように！					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	アンケート、授業内容説明、自己紹介、セルフメイク発表
2	自分の肌タイプを知る ベースメイク	自分の肌に合わせたスキンケアを知る、ベースメイクまで
3	骨格に合わせたメイク① アイブロウ編	アイブロウ徹底攻略！セルフ～相モデルで
4	骨格に合わせたメイク② シェーディングハイライト、チーク編	小顔メイク攻略！セルフ～相モデルで
5	アイシャドウグラデーションテクニック	アイシャドウのグラデーションの基本を知る
6	リップライナーの使い方とフルメイク	リップライナーを自分にも人にも使えるようになろう
7	中間試験	振り返り・相モデルによる実技試験
8	メイクシート作成 セルフプロデュース	自分に似合うメイクを徹底研究して、メイクシートを活用してみる
9	トレンドメイク研究①	トレンドメイクをリサーチしてメイクシート作成 セルフメイク
10	トレンドメイク研究②	トレンドメイクを人にできるようにしよう
11	透明感フェミニンメイク	透明感あるメイク メイクの足し算引き算
12	海外クールメイク	韓国風とは違う海外メイクをやってみよう
13	韓国メイク	韓国メイクをやってみよう
14	定期試験対策	相モデルによる実技対策
15	定期試験	振り返り・相モデルによる実技試験

科目名 (英)	ネイルケア&アート nail care art	年次	1	実務経験	担当	殿村雅子
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティー科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	木下ユミメークアップ&ネイルアトリエ所属講師/本部認定講師歴17年目(常任本部認定講師歴1年) 他美容専門学校外部講師を勤めネイルサロンオーナー(2年)現役のネイリストとして活躍中					
目的 科目概要	ネイリスト技能検定3級の試験に合格するための理論と技術を習得。デモを取り入れ、基本である道具の準備、実技や接客の手順・テーブル回りのセッティングを学ぶ。ネイリスト技能検定3級に合格するためのネイルケアカラーを理解し、3級スタイルを覚え内容を把握して受講してほしい。ペイントアートをマスター出来るようケアカラーやアート総合タイムトライアルを取り入れ、検定直前には模擬試験を実施。全生徒が合格できるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	ネイリスト技能検定3級の実技を学び、試験合格レベルに達するよう技術を習得することを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布			事前事後 学習と その内容	技術・教科書の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ケアカラー道具、アート道具					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧に取る事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ネイルケアカラーを理解する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】使用教材を覚える。手順・セッティングを覚える。デモ。 【履修確認】小テスト2点(セッティング)
2	ケアの徹底トレーニング・概論(歴史、爪の構造)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアを学ぶ。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点(仕上げ)
3	カラーリング徹底トレーニング・概論(爪の病気とトラブル)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ペーパーカラーと相モデルトレーニングでカラーリング、修正を覚える。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点(仕上げ) + 課題点2点(ペーパーカラー)
4	検定3級スタイルを覚える。	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ネイル検定3級内容を理解する。要項説明、実技採点基準ポイントを把握する。 【履修確認】小テスト2点(検定3級スタイル)
5	ケアカラー・概論(消毒法)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアカラーを通して学ぶ。 【履修確認】小テスト2点(仕上げ)
6	ケアカラー・概論(生理解剖学、皮膚科学)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアカラーを通して学ぶ。 【履修確認】小テスト2点(仕上げ)
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】相モデル ケアカラー(70分) 【履修確認】中間試験20点
8	ケアカラー復習	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでケアカラートータルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
9	ペイントアートをマスターする・概論(色彩学)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ストローク練習とチップトレーニングを実施し検定課題である「フワワー」アートをマスターする。デモ。 【履修確認】小テスト2点 + 課題点2点
10	ケアカラー、アート総合タイムトライアル	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでケアカラートータルトレーニング。《タイムトライアル》 【履修確認】小テスト2点
11	コンテスト対策ケアカラー	【授業形態】講義・実習 【到達目標】3種塗り分け(シアー、パール、マットホワイト)デモ。相モデルでコンテスト向けケアカラー 【履修確認】小テスト2点
12	検定3級直前の模擬試験	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルで3級内容のタイムトライアル。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト3点
13	検定実技報告	【授業形態】講義・実習 【到達目標】出来たところと出来なかったところを自己採点。相モデルトレーニング。《タイムトライアル》 【履修確認】小テスト3点
14	コンテスト対策ケアカラー	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでコンテスト向けケアカラータイムトライアル。 【履修確認】小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】ケアカラー(70分) 【履修確認】期末試験50点

科目名 (英)	メイクアップ総論 I General Make up I	年次	1	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティー科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	水1～2
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスクール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュースに携わり、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任し、ここではメイクアップに必要な専門的な知識と技術の基礎を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:メイクアップに関するマナー、専門知識、ナチュラルメイクの基礎的な技術を学ぶ。 科目概要:メイク基礎を学びJESCメイクアップアーティスト検定に合格できるようになる。					
到達目標	正しいメイクアップのマナーとセッティングの仕方を習得する 正しい化粧品の使用方法を理解し、限られた時間内でナチュラルメイクを仕上げることができる。 パーツごとにナチュラルメイクの正しい技術を習得することができる。 バランスの良いナチュラルメイクを仕上げることができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 提出課題					
教科書	Make up foundation 1			事前事後 学習と その内容	動画視聴しますので必ずipadを準備して下さい。また、メイクアップは細かいプロセスが多いので、毎回必ずノートを取って欲しいです。	
教材	学校指定のメイクアップ教材					
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題を提出をしていただきます。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	マナー・セッティング・スキンケア	正しいセッティングの仕方を習得する メイクアップの様々マナーを理解する スキンケアの手順を理解する
2	前回の復習/ベースメイク	セッティング～マナーの確認、スキンケア復習。正しいセッティングの仕方を習得する スキンケアの手順を習得する。 ベースメイクの種類と特長、作り方を理解する。
3	前回の復習/アイブロウ	スキンケア～ベースメイク復習。スキンケアの手順を熟練する。 ベースメイクの作り方を習得する。 アイブロウアイテムの種類と特長、描き方を理解する。
4	前回の復習/アイメイク	事前にベースメイクを作っておく。アイブロウ復習。ブラシを使ったアイシャドウの付け方、グラデーションの出し方、アイラインの引き方、ビューラーの使い方、マスカラの付け方を学ぶ。
5	前回の復習/リップ・チーク	事前にベースメイクを作っておく。アイブロウおよびアイメイク復習。アイメイクの仕方を習得する。 リップラインの描き方を理解する。 チークの付け方を学ぶ。
6	1～5回まで授業の振り返りと中間試験トレーニング	1～5回目までの総復習。時間に入ることと完成度のバランスを上げることを目指す。
7	中間試験	フルメイク(35分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(35分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。
8	フルメイク	フルメイク(35分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(35分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。
9	ゴールデンプロポーションとシェーディング	フェイスプロポーションを計測し顔のパーツの配置の違いを理解する。顔の黄金比を知り、美しいパーツ配置のバランスを理解する。ハイライトとシャドウによるベースメイクの立体感の付け方を学ぶ。
10	前回の復習/アイブロウの形を変えて描く	シェーディングを含めたベースメイク。過不足無い自然な立体感のあるシェーディングを習得する。自然に長く・短く、太く・細くするアイブロウの描き方を理解する。
11	J Career School認定 メイクアップアーティスト検定対策	JESCメイクアップ検定受験内容の説明・セッティング、身だしなみの確認・各パーツの仕上げ方 規定時間30分フルメイクの感覚を知る。
12	J Career School認定 メイクアップアーティスト検定対策	30分フルメイクの時間に入るように各パーツごとの時間配分を身につける。 筆記対策として過去問題を解いて知識を習得する。
13	J Career School認定 メイクアップアーティスト検定対策	30分フルメイクの時間に入るように各パーツごとの時間配分を身につける。 筆記対策として過去問題を解いて知識を習得する。
14	J Career School認定 メイクアップアーティスト検定対策	30分フルメイクの時間に入るように各パーツごとの時間配分を身につける。 筆記対策として過去問題を解いて知識を習得する。
15	定期試験	フルメイク(30分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(30分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。

科目名 (英)	ファッション総合 Fashion General	年次	1	実務経験	担当	こまい みゆ
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティー科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	木曜 1・2限
講師紹介	株式会社ワールドへ入社後、約10年以上アパレル販売員として活躍し約36,000人以上のファッションコーディネートを担当。現在はイメージコンサルタントとしてイメージコンサルティングサロンを運営4年目。年間400名以上、総数2,000名以上のパーソナルカラー診断、骨格診断、メイクレッスン、ショッピンング同行など老若男女問わず実施。また大手結婚相談所会員向けのレッスンも担当している。					
目的 科目概要	幅広いファッションセンスやスタイル、ヘアスタイル、メイク、ネイルとのトータルビューティーの考え方を身につけ、発表することができるようになる。ファッション業界、美容業界での実務に活かせるコミュニケーション力を習得する。					
到達目標	憧れられる美容のプロを目指すうえでのファッションセンスを身につける。 様々なファッションスタイルを学び、自分に似合うスタイルや新しい発見に結びつける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験					
教科書						
教材	別紙プリント		事前事後 学習と その内容	出題した課題を自分で深め、成果物として提出してもらいます。		
特記事項	iPad 持参					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ファッションとは	・自己紹介 ・ファッションとは何かを考え学ぶ ・ファッションスタイルの理解
2	パーソナルスタイリング①	・ベーシックアイテムを使って基本のスタイリング技術を学ぶ
3	パーソナルスタイリング②	・ベーシックアイテムを使ったスタイリングのシーズン別のスタイリング技術を学ぶ
4	パーソナルスタイリング③	・体型別、コンプレックス別のスタイリング技術を学ぶ
5	色彩とパーソナルカラー①	・色彩を持つ特徴と印象 ・ファッションアイテムの色との関係 ・パーソナルカラー診断とは
6	色彩とパーソナルカラー②	・パーソナルカラー診断とファッション ・パーソナルカラー実習
7	中間試験	・筆記試験 ・パーソナルスタイリング 発表
8	顔タイプ診断とトレンド	・顔タイプ診断とは ・トレンドとは
9	骨格診断とファッション	・骨格診断とは ・骨格タイプ別アイテム、ファッション
10	骨格診断とファッション	・骨格タイプ別ファッションとコーディネート
11	コレクション	・コレクションとは ・コレクションから学ぶファッションスタイル
12	セルフプロデュース	・自分のチャームポイントを知る ・チャームポイントを活かしたファッションスタイリング ・ファッションショー概要
13	ファッションショー(期末試験)準備	・ウォーキング ・ファッションショー準備(曲・洋服・ヘアメイク準備)
14	ファッションショー(期末試験)準備	・今までの復習・試験対策 ・骨格診断・顔タイプ診断復習 & クリエイティブ ・シチュエーション別コーディネート(ディズニー)
15	ファッションショー(期末試験)	ファッションでセルフプロデュース

科目名 (英)	おもてなし Omotenashi	年次	1	実務経験	担当	石田智子
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	金曜1限
講師紹介	百貨店に約20年勤務し、食料品売り場をはじめ服飾、雑貨の販売や接客サービスを経て、売り場係員の教育担当の経験もつ講師が、実体験を交えた講義を行う。個人技に近い「おもてなし」を自分自身で学びとるために、グループワークを取り入れた体験参加型の講義を行う。					
目的 科目概要	接客業に携わるうえで、自分と自分の仕事に自信を持ち、お客さまとのコミュニケーションが得意で、お客さまのさまざまな要求や課題、問題に対処して解決できる社会人基礎力に優れた「おもてなしのプロ」を目指す。					
到達目標	資格検定教本を通して「おもてなしの心」「型とスキル」を体系的に学び、「おもてなしマスター」資格を取得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験					
教科書	おもてなしマスター資格検定教本		事前事後 学習と その内容	おもてなしのプロとしてふさわしい、笑顔、挨拶、姿勢、言葉づかいを常に意識すること。		
教材						
特記事項	教本・筆記用具一式・iPadを必ず持参すること。決められた座席に着席し、ワーク等の際には速やかに席移動すること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	科目オリエンテーション	講師自己紹介 科目オリエンテーション(授業ルール、評価、資格検定試験についてなど)
2	おもてなしとは何か・おもてなしの背景	おもてなしの語源と背景を知る グループワーク「おもてなし」とは何か
3	おもてなしの心3つと基本となる型	おもてなしの心3つの解説と5つの型
4	型1 事前調査	事前調査の必要性 事前調査において「傾聴スキル」がなぜ必要かの解説とワーク
5	型2 時間管理	時間管理とは何か グループワーク「待たせ感」を感じさせない工夫
6	型3 環境設定	五感と季節を意識した、お客さまにとっての空間準備について考える
7	中間試験	中間試験実施、終了後の解説解答から自身の課題を抽出する
8	型4 場面演出	場面演出の目的とイベント演出 グループワーク「わたしのオススメ」(プレゼンテーション)
9	型5 変化対応①	アサーション4つのタイプの解説とセルフチェック
10	型5 変化対応②	ポジティブシンキング、ストレスマネジメントについて グループワーク「ポジティブシンキング」
11	5つのどの型にも有効な共通スキル①	共通スキル(なぜなぜシンキング、KJ法)とは
12	5つのどの型にも有効な共通スキル②	共通スキル(エゴグラム、コーチング)とは
13	振り返り・まとめ	おもてなしマスター検定試験に合格するための、最終的な準備
14	過去問題及び記述問題対策	過去問題に取り組み自己採点する、課題を抽出する 記述問題対策
15	定期試験(おもてなしマスター検定試験)	おもてなしマスター検定試験に合格する

科目名 (英)	ヘアメイク I Hair make I	年次	1	実務経験	担当	高岸
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティー科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	化粧品メーカーのインストラクター、美容スクール講師を経て30歳で独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍。クリエイター系の株式会社経営やコスプレ関連事業にも携わり、国内外で活動の幅を広げている。					
目的 科目概要	スタイリング理論を学び、アイロン・ピンワークなどの基本技術を習得する。アップスタイル、編み込み、ウェーブなどのバリエーションを広げながら最終的には、トータルのバランスを考慮したヘアデザインの提案・再現ができるようになることを目指す。					
到達目標	ヘアスタイリングの基礎から応用までを学び、骨格や髪質に合わせたデザインができる技術を習得することを目的とする。基本的なセット技術に加え、トレンドやシーンに応じたスタイル提案ができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	資料配布			事前事後 学習と その内容	ヘアスタイリングの動画などを視聴する。	
教材	ヘア道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	道具の名称・使い方・ブロッキング基礎	ウィッグ・クランプ・ホットカラー・カールアイロン・アメピン・Uピン・ブロッキングの名称・基礎
2	アイロンテクニック①基礎	カールアイロンを使用したスタイリング
3	アイロンテクニック②基礎	巻き方パターン、ツイスト巻きを使用したスタイリング
4	ピンニングテクニック①	ピンニングを使用したスタイリング
5	編み込み表・裏・レース編み	編み込みを使用したスタイリング
6	中間試験対策 ハーフアップ①	ハーフアップスタイ
7	中間試験	ハーフアップスタイルをチェック
8	ハーフアップ②	くるりんぱ・ローブ編み込みハーフアップスタイル
9	アップスタイル①	ストレートアップ。カールアップ
10	アップスタイル②	お団子・ツインテール
11	編み込みアレンジ①	表編み込み・裏編み込み
12	編み込みアレンジ②	あみ下ろし パターン
13	期末試験対策①	スタイルチェンジ 3パターン
14	期末試験対策②	スタイルチェンジ 3パターン
15	期末試験	ダウンスタイル・ハーフアップ・アップスタイル

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ Career DevelopmentⅡ	年次	1	実務経験	担当	相馬ひかり
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科	トータルビューティ科	単位	2	有	開講区分 曜日・時間	後期 金曜日3限
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す職業像を明確にする。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	①主体性を持って行動が出来るようになる ②就職に向けての情報収集を行い、準備が出来るようになる ③自己発見を行い、希望の就職先への内定に繋げる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	Hand-book of Life Style		事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。		
教材	Hand book of Life style スケジュール管理のための手帳・ipad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけよう)					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ		授業内容			
1	後期目標設定		前期を振り返り、後期の目標設定。 就職活動の流れを含んだ後期のスケジュールを理解する。			
2	履歴書の書き方①		就職スケジュールを把握し、履歴書の重要性を理解する。 また面接試験のマナーを学び、自己紹介が出来るようになる。			
3	履歴書の書き方②		履歴書プロフィール欄の書き方を理解し、書いてみる。 求人票の見方も同時に学ぶ。			
4	履歴書の書き方①		就職活動における履歴書の役割や作成のポイントを学ぶ。 基本項目を書いてみる。			
5	面接ロールプレイ①		面接対策			
6	面接ロールプレイ②		面接対策			
7	中間試験		履歴書の完成と模擬面接を通して、就職活動の準備を整える。			
8	成果発表会対策		成果発表会に向けての注意事項			
9	就活エントリーについて理解する		就職スケジュールを把握し、履歴書の重要性を理解する。 また面接試験のマナーを学び、自己紹介が出来るようになる。			
10	冬休みの注意事項		冬休みに向けて			
11	就活エントリーについて理解する		就職スケジュールを把握し、履歴書の重要性を理解する。 また面接試験のマナーを学び、自己紹介が出来るようになる。			
12	就活エントリーについて理解する		就職スケジュールを把握し、履歴書の重要性を理解する。 また面接試験のマナーを学び、自己紹介が出来るようになる。			
13	成果発表会対策		成果発表会に向けての注意事項			
14	成果発表会対策		成果発表会に向けての注意事項			
15	定期試験		成果発表会&1年間の振り返り			

科目名 (英) total beauty I 学科 トータルビューティー科	トータルビューティー I	年次 1	実務経験 有	担当 殿村雅子
		授業形態 演習		
		時間数 30	開講区分 後期	
	単位 2		曜日・時間 火曜1・2限(※1W~7W)	
講師紹介	木下ユミメークアップ&ネイルアート工所属講師/本部認定講師歴17年目(常任本部認定講師歴1年)			
目的 科目概要	アクリル絵の具やポリッシュでできるアートを応用し、アレンジできるような技術を身につける。			
到達目標	ファッションに合わせたネイルをコーディネートできるようになる。			
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品			
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布	事前事後 学習と その内容	技術・教科書の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ケアカラー道具、アート道具、チップ、チップスタンド、スポンジ、ハサミなど			
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧に取る事。			

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ポリッシュアート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ラメグラデ、マーブル。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点
2	ポリッシュアート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】フレンチ、変形フレンチ(逆フレンチ、斜めフレンチ、シェvron)など。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点+課題点4点
3	フラットアート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】スポンジアート(グラデ、チェック、タイダイ、デニム)など。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点
4	フラットアート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】レース、ツイード、リボンなど。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点
5	フラットアート③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】アニマル(ヒョウ、ゼブラなど)。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点
6	ファッションイメージに合わせたコーディネート	【授業形態】講義・実習 【到達目標】イメージ分類8種説明。相反するイメージを2種選び、8~12で習ったアートを使用したアートを施す。iPadにてコラージュ作成。5本2セット。【履修確認】小テスト2点+課題点4点
7	定期試験	【授業形態】実習 【到達目標】コラージュ・デザイン画・チップ制作(70分) 【履修確認】期末試験30点
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	トータルビューティ I Total Beauty I	年次	1	実務経験	担当	川上 貴子
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2			曜日・時間
講師紹介	客室乗務員時代から信頼感や安心感のあるヘアスタイルやメイク、立ち居振る舞いを独自に研究。現在はイメージコンサルタントとしてパーソナルカラー診断、骨格診断、メイクレッスン、ショッピング同行など老若男女問わず実施。また、行政関係のセミナー登壇、大手結婚相談所会員向けのレッスンも担当、阪急メンズ東京の外部スタイリストでもある。					
目的 科目概要	秋冬のトレンドやTPO別スタイル、様々なファッションブランドの特徴について学び、就職活動に結びつける。ファッション業界、美容業界での実務に活かせるスタイリング力、コミュニケーション力を習得する。					
到達目標	ファッションのトレンドやTPO別スタイル、様々なファッションブランドの特徴について学び、ファッション業界、美容業界への就職に役立て、即戦力となることを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容	ファッションブランドの特徴を研究し、自ら自己ブランディングできるように学習する。		
教材						
特記事項	iPad持参					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	—	—
2	—	—
3	—	—
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	顔タイプ診断 × 骨格診断	・顔タイプ診断 ・骨格診断 ・顔タイプ診断 × 骨格診断のコーディネート
9	TPO別スタイル	・場に相応しい服の選び方 ・ファッションマナーの考え方 ・就職活動スタイルを考える
10	ファッションブランド研究	・ファッションブランド研究(コレクション・リアルショップ・WEB・ファストファッション) ・ブランドのコンセプト作り
11	ファッション・アパレル業界研究	・ファッション、ビューティートrendの読み解き方 ・ファッションブランドの歴史 ・アパレル業界研究
12	ファッションコーディネート	・ファッション雑誌からのコラージュ作成 ・服飾小物について ・シチュエーション別コーディネート
13	ファッションコーディネート	・ファッションロードマップ作成 ・骨格タイプ別ウェディングドレス、ヘアメイク、小物コーディネート
14	今までの振り返り	・今までの復習、試験対策 ・骨格診断、顔タイプ診断復習 & クリエイティブ ・シチュエーション別コーディネート
15	期末試験	・期末試験(筆記) ・期末試験(トータルビューティ研究発表)

科目名 (英)	ブランド研究 I Brand research	年次	1	実務経験	担当	門脇 真由理
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	火曜 3・4限
講師紹介	MAC で6年間美容部員として勤務後、フリーのメイクアップアーティストとして、様々な現場を経験し授業に活かす。					
目的 科目概要	デパートコスメブランドの歴史やコンセプト、広告ビジュアル、人気アイテムについて学び、ブランドが持つ特徴や世界観を理解する。授業では毎回異なるブランドを取り上げ、ブランドイメージを踏まえたメイクを実践するとともに、デパートコスメブランドの歴史、コンセプトの知識を深め、各ブランドの特徴を理解する。					
到達目標	デパートコスメブランドの歴史、コンセプト、広告イメージを理解し、ブランドの特徴や人気アイテムについて説明できるようになる。また、ブランドの世界観やイメージに合わせたメイクを模写で施せるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験 ■提出課題					
教科書						
教材	学校教材	事前事後 学習と その内容		授業で学んだブランドの特徴やメイクのポイントを振り返り、ブランドイメージとメイクの関係について理解を深める。		
特記事項	iPadを必ず持ってきてください					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション BA就活メイク(セルフ)	授業概要説明 BA就活メイクのポイント、身だしなみ
2	MAC	MACの歴史 広告イメージメイク
3	KOSE(JILLSTUART)	KOSEの歴史 JILLSTUARTの広告イメージメイク
4	ADDICTION	ADDICTIONの歴史 広告イメージメイク
5	CHANEL	CHANELの歴史 広告イメージメイク
6	THREE	THREEの歴史 広告イメージメイク
7	中間試験	相モデルによる実技試験
8	Dior	Diorの歴史 広告イメージメイク
9	資生堂(NARS)	資生堂の歴史 NARSの広告イメージメイク
10	YSL	YSLの歴史 広告イメージメイク
11	shu uemura	shu uemura歴史 広告イメージメイク
12	花王(RMK)	花王グループの歴史 RMKの広告イメージメイク
13	SUQQU	SUQQU歴史 広告イメージメイク
14	定期試験対策	定期テスト対策 講師デモ
15	定期試験	相モデルによる実技試験

科目名	ヘアメイクⅡ Hair make Ⅱ	年次	1	実務経験	担当	高岸
		授業形態	演習			
(英)		時間数	60	有	開講区分	後期
学科	トータルビューティー科	単位	4		曜日・時間	金曜3・4限
講師紹介	化粧品メーカーのインストラクター、美容スクール講師を経て30歳で独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍。クリエイター系の株式会社経営やコスプレ関連事業にも携わり、国内外で活動の幅を広げている。					
目的 科目概要	季節イベントに合わせたメイク・ヘアを学び、文化理解と演出力を高め、TPOに応じた提案力と実践力を身につける。					
到達目標	ヘアメイクを作成するにあたり必要なヘアとメイクのトータル技術を習得し説明ができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	BASIC MAKEUP			事前事後 学習と その内容	メイクルック画像をたくさん検索したり、目を肥やすために色々な作品を見て自分のものにする努力をする。	
教材	学校教材					
特記事項	実技の授業なので、エプロンと名札着用で臨む。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ダウンスタイル(人頭)	ダウンスタイルタイムアタック(韓国巻き)
2	編み込みスタイル(人頭)	編み込みアレンジ
3	ハロウィンヘアメイク①デザイン	ハロウィンのメイク&ヘアスタイルを考えデザインを作成する
4	ハロウィンヘアメイク①作成	ハロウィンのメイク&ヘアスタイルを作成する
5	ハロウィンヘアメイク②デザイン	ハロウィンのメイク&ヘアスタイルを考えデザインを作成する
6	中間試験対策	ハロウィンのメイク&ヘアスタイルを作成する
7	中間試験	ハロウィンのメイク&ヘアスタイルを作成する
8	ハーフアップスタイル(人頭)	ハーフアップアレンジ
9	アップスタイル(人頭)	アップスタイルアレンジ
10	クリスマスヘアメイク デザイン	クリスマスのメイク&ヘアスタイルを考えデザインを作成する
11	クリスマスヘアメイク 作成	クリスマスのメイク&ヘアスタイルを作成する
12	和装ヘアメイク デザイン	和装のメイク&ヘアスタイルを考えデザインを作成する
13	和装ヘアメイク作成	お正月のメイク&ヘアスタイルを作成する
14	期末試験対策	イベントヘアメイク
15	期末試験	イベントヘアメイク

科目名 (英)	パーソナルカラー	年次	1	実務経験	担当	堀川 彩里
	Personal Color	授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2			
講師紹介	パーソナルカラー診断、セミナー、パーソナルカラーに基づいたマスクやアイシャドウ、ヘアカラーなど商業品のカラー監修、カラーリストの育成を27年行っております。またパーソナルカラーのコンサルティングでは、自分の色素に合うパーソナルカラーメイク(色素メイク)を取り入れています。授業では、現場経験知識を活かし、パーソナルカラーの知識を実際の仕事現場でも使えるよう、検定試験対策の授業展開のみならず、似合う色の効果、似合う色の活用方法など事例を紹介しながら授業を実施していきます。					
目的 科目概要	目的: 似合う色を身につける事で、よりよく自己を印象づける「自分ブランディング」ができるようになるポイントを学ぶ(パーソナルカラー検定3級)。概要: パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎、そのもとになる色彩学の基礎を習得する。自分自身の似合う色を実習の中で学んでいく。					
到達目標	自分には客観的にどのような色が似合うかを学び、「自分ブランディング」ができるようになる事で自分に自信を持ち、自己表現の幅を広げる。学んだ知識をメイクやネイルなど様々な美容の現場で活かしたり、お客様に提案できるようにする。パーソナルカラー検定3級(2026年度冬季)の合格することを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■提出課題					
教科書	色彩活用パーソナルカラー検定3級 公式テキスト・問題集		事前事後学習とその内容 授業の進行に合わせて、課題の予習・復習、問題集、プリントの課題を実施する。			
教材	新配色カード199b、トーンマップ、過去問題					
特記事項	演習(色素チェック・ドレーピング)において、メイク・カラーコンタクト NGの回があります。はさみ、のり、筆記用具を持参してください。					

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション(パーソナルカラー概要) 色彩の基本①(色の三属性)	・パーソナルカラーの意味と必要性、判断の裏付けとなるモノの大枠を学ぶ ・色彩の基本である、色の三属性(色相・明度・彩度)を理解する。CW(色相環作成)
2	色彩の基本②(色の三属性、トーン)	・色の三属性の明度・彩度を理解する。 ・「色の三属性」を使って、色を表現できる(伝えられるようにする) ・トーンの見え方と仕組みを理解する。CW(トーンマップ)
3	色彩の基本③(トーンとイメージ)	・トーンとイメージ(言葉)の関わりを学び、色の表現力を養う。CW(トーンマップ)完成
4	パーソナルカラーの基本 パーソナルカラーの4シーズンのカラーパレット①	・パーソナルカラーでの色の三属性の捉え方を理解する ・パーソナルカラーの4つのパレットについて、色の特徴とイメージを理解する、カラーパレット作成
5	パーソナルカラーの4シーズンのカラーパレット②	・パーソナルカラーの4つのパレットについて、色の特徴とイメージを理解する、カラーパレット作成
6	似合う色の基準となる色素について①	・色素(髪・眼・肌)の特徴を知りそこから4シーズンの代表的な色素傾向を知る ・PIについて理解する
7	中間試験 似合う色の基準となる色素について②	・中間試験 ・色素(髪・眼・肌)の特徴を知りそこから4シーズンの代表的な色素傾向を知る。自分の色素を知ること、自分に似合う色の傾向を理解する。自分の色素チェックをしてみる
8	ドレーピング手法 似合う色と似合わない色	・ドレーピングでの顔映りの変化、効果と影響についてを知る。似合う色を「三属性の得意な要素」で捉える。似合わない色の見え方も確認する。
9	ドレーピング実習①	・グループ分けをし、実際にドレープを使って色による顔色の変化(顔映り)を体験する。
10	ドレーピング実習② 似合う色の取り入れ方、PIを生かした自分ブランディング	・診断結果をまとめる(自分の色素と似合う色のつながりをまとめる)。 ・4シーズンそれぞれに似合う色、柄、素材、メタリック、メイクカラーを理解する。ドレーピング実習を踏まえて、自分に似合う色の取り入れ方を理解する。4シーズンシート作成
11	パーソナルカラーと対比	・対比(明度、彩度、色相)について理解し、色の影響の現れやすさを確認する。
12	色が見える仕組み、光と色 反射と吸収 色名	色彩学の反射・吸収が、パーソナルカラーの顔映りにどの様に関わるのか理解する 慣用色名と系統色名の違いを理解する。
13	検定対策	・これまでに学んだ内容について、検定出題傾向に基づき要点を復習する ・過去問題を例に、出題形式や出題傾向に慣れる
14	定期試験	・定期試験の実施(過去問題などを併用)、解説
15	パーソナルカラー3級検定試験	注意事項の説明、試験時間60分

科目名 (英)	スキンケアカウンセリング I skin counseling	年次	1	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4			曜日・時間
講師紹介	国内外のエステティックサロンで経験を積み、スキンケアに対する知識を丁寧に指導する。 一人ひとりの肌や体の状態には違いがあることを理解し、効果的な方法を実践・アドバイス出来るようになってほしい。					
目的 科目概要	目的:美肌検定に必要な知識の習得と、ボディ・フェイシャルケアを習得しお客様の要望に答える 概要:美肌検定対策に必要な皮膚学、栄養学、化粧品学、セルフケアの知識を学ぶとともにボディケア・フェイシャルケア全般を学ぶ					
到達目標	・美肌検定に合格することを目標とする。 ・ボディトリートメント・フェイシャルトリートメントの種類や効果の違いを理解し、効果的な施術を行うことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験					
教科書	美肌検定の教科書		事前事後 学習と その内容			
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめて毎授業持参すること。 これまでのエステに関する資料も毎回持参すること。					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ		授業内容			
1	トリートメントの概要 ハンドマッサージ		この授業の概要と進め方について ハンドマッサージの効果、禁忌事項、注意事項、技術を習得する			
2	ヘッドマッサージ		ヘッドマッサージの効果、禁忌事項を学ぶ ヘッドマッサージの技術を習得する			
3	ボディゴマージュ ボディパック		ゴマージュ剤を使用し、角質ケア技術を習得する ボディパックの技術を習得する			
4	前操作 サクション		タオルの上からのボディケア技術を習得する サクションの効果、禁忌事項、技術を習得する			
5	ボディマッサージ		ボディマッサージの効果、禁忌事項を学ぶ むくみに効果的なレッグマッサージを習得する			
6	ボディマッサージ		マッサージに必要な体の筋肉とリンパ節について学ぶ マッサージの技術の向上を図る			
7	中間試験		1～6回までの授業の理解度を確認する			
8	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(泡洗顔)		美肌に見せる6つの条件とは 美肌ケアの基本			
9	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(ゴマージュ)		美肌に効果的な食べ物の摂り方			
10	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(マッサージ)		皮膚の構造と肌タイプについて			
11	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(マッサージ)		美肌と4大ホルモン 美肌の4つの大敵			
12	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(パック)		化粧品の基本の使い方と選び方			
13	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(パック)		マッサージの効果とセルフケア方法			
14	定期試験(美肌検定模擬テスト)		これまでの理解度を確認する			
15	美肌検定試験		美肌検定筆記試験			

科目名	メイクアップ総論Ⅱ General Make Up Ⅱ	年次	1	実務経験	担当	高岸
		授業形態	演習			
(英)		時間数	60	有	開講区分	後期
学科	トータルビューティー科	単位	4		曜日・時間	金曜1・2限
講師紹介	化粧品メーカーのインストラクター、美容スクール講師を経て30歳で独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍。クリエイター系の株式会社経営やコスプレ関連事業にも携わり、国内外で活動の幅を広げている。					
目的 科目概要	アーティスト活動に必要な技術・知識・接客を学び資格の習得を目標とする。					
到達目標	化粧品販売員検定ブロンズ合格、4シーズンカラーメイクの知識・技術を習得し、説明することができることを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	資料配布			事前事後 学習と その内容	ヘアスタイリングの動画などを視聴する。	
教材	メイク・ヘア道具一式・					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	化粧品販売員検定 ブランド分析	化粧品業界の現状と動向・ブランド分析・ブランド別特徴・販売スタイル
2	化粧品学 基礎①スキンケア	スキンケア化粧品の種類と特徴
3	化粧品学 基礎②スキンケア	メイクアップ化粧品の種類と特徴
4	接客販売①	心構え・身だしなみ・パーソナルスペース・売上の考え方
5	接客販売②	販売行動プロセス～クレーム対応
6	過去問題	過去問題80点以上を目標
7	中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ(Web検定)
8	色彩学・BYベース	色彩学・ブルーベースとイエローベースを学ぶ
9	4シーズンカラー スプリングメイク	スプリングカラーを理解・習得、実習
10	4シーズンカラー サマーメイク	サマーカラーを理解・習得、実習
11	4シーズン オータムカラー	オータムカラーを理解・習得、実習
12	4シーズンカラー ウィンターカラー	ウィンターカラーを理解・習得、実習
13	ヒューマンカラー診断	ヒューマンカラーの診断方法と似合わせ
14	期末試験対策	似合わせ4シーズンカラーメイク
15	期末試験	似合わせ4シーズンカラーメイク

科目名	パーソナルスタイリング	年次	1	実務経験	担当	中川 絵美
		授業形態	実習・演習			
(英)	Personal styling	時間数	60	有	開講区分	後期
学科	トータルビューティ科	単位	4			
講師紹介	美容業界にて、トータルビューティサロンでの施術・化粧品販売など現場経験を積む。結婚・出産後、株式会社シーボン本社にて通販事業を担当し、顧客対応力と提案力を培う。 現在はイメージコンサルタントとしてサロンを運営し、パーソナルカラー診断・骨格診断・メイクレッスン・ショッピング同行などを通して、外見と内面の両面から魅力を引き出すサポートを行う。また、大手百貨店でのパーソナル診断サービスや大手結婚相談所における会員向けレッスンを担当し、幅広い顧客の印象形成に携わっている。					
目的 科目概要	パーソナルスタイリング知識の測定試験「TOPSS」の公式テキストを使って、ファッションの基礎知識を身につけ、ファッション業界、美容業界での実務に活かせるスタイリング力、コンサルティング力、コミュニケーション力を習得する。					
到達目標	パーソナルスタイリングの基本となる服の知識、スタイル、アウトフィット、TPO、色、ヘアメイクとのバランスなどを理解し、演習を通じてスタイリング技術を習得できる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	「基礎からわかるパーソナルスタイリング」日本パーソナルスタイリング振興協会 著		事前事後 学習と その内容 復習：TOPSSテキスト 宿題：パーソナルスタイリング提案			
教材						
特記事項	iPad 持参					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	・自己紹介 ・TOPSSについて ・試験範囲 ・テキストの概要説明 ・パーソナルスタイリングとファッションスタイルの理解 ・自分の好きなコーデを作る
2	服の知識 P12～P34	・基本のファッションアイテム ・アパレル素材、サイズ、採寸 ・品質表示の見方 ・コラーージュ作成
3	スタイルとイメージ P36～50	・代表的なファッションスタイル ・イメージ ・ファッションスタイル、イメージに合わせたコーディネート選び ・パーソナルスタイリング ヒアリング練習
4	色彩とパーソナルカラー P74～86	・色彩とパーソナルカラー ・4シーズンカラー ・配色の基本 ・パーソナルカラーとファッションアイテムとメイクアイテム ・パーソナルカラー実習
5	骨格診断 アウトフィットとコーディネート P52～62	・体型とプロポーション ・体型カバーのコーディネートテクニック、カバーテクニック、年齢による体型の変化 ・骨格診断と素材、柄、デザイン ・体型カバー、骨格診断実習
6	パーソナルスタイリング実践①	・中間試験の範囲発表 & これまでの復習 ・パーソナルカラー診断、骨格診断の復習 ・パーソナルスタイリング実践 ・洋服の提案、試着案内、練習
7	中間試験	・中間試験(筆記・実技) ・試験範囲の復習 ・パーソナルスタイリング実践 応用 ・洋服の畳み方、マネキンの扱い方実習
8	顔タイプ診断 TPO・アウトフィット P64～P72	・顔タイプ診断応用 ・顔タイプ別ブランドリサーチ ・顔タイプ別コーディネート作成 ・場に相応しい服の選び方 ・ファッションマナーの考え方 ・TPOコーディネート
9	メンズウェア P88～P100	・メンズウェアの基本 ・スーツ、カジュアルスタイル ・メンズファッションコーディネート ・メンズパーソナルカラー診断、顔タイプ診断
10	映画から学ぶファッションスタイルと服装マナー	・課題&おさらい ・映画から学ぶファッションスタイル
11	ヘアメイクとファッション教養 P102～P118	・ヘアメイクとヘアスタイルとファッションの組み合わせ ・ファッションの歴史 ・環境とファッション ・冠婚葬祭の振る舞いとマナー
12	パーソナルスタイリング実践②	・セルフブランディングとコラーージュ作成 ・映画「ファッションが教えてくれること」から学ぶファッションセンス ・実習室のアイテムリサーチ、アイテム提案
13	パーソナルスタイリング実践③	・ヘアメイクの歴史とトレンドリサーチ ・SNSブランディング リール作成
14	今までの振り返り	・期末試験対策 ・TOPSS試験追加項目解説 ・5年後の未来、ビジョンマップ作成
15	期末試験・TOPSS試験	・期末試験(筆記・実技) ・TOPSS試験

科目名	トレンドリサーチ I	年次	1	実務経験	担当	生田 元慶
(英)	trend research	授業形態	演習	有	開講区 分 曜日・時 間	後期
学科	トータルビューティ科	時間数	60			金曜・1・2限
		単位	4			
講師紹介	採用支援・SNS運用、キャスティングなどを中心に活動するマーケティングプロデューサー。モデル・インフルエンサー・タレントのキャスティング事業やSNSマーケティング支援を行う会社を営み、美容・アパレル・エンタメ領域を中心に企業のプロモーション企画を手がけている。					
目的 科目概要	SNSマーケティングの基礎とトレンドリサーチ方法を学び、美容・ファッション業界におけるSNS活用の理解を深める。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSトレンドを分析できる ・SNS投稿コンテンツを制作できる ・SNSアルゴリズムの基本を理解する ・美容・ファッション業界のSNS活用を説明できる 					
評価方法	<p>学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。</p> <p>■ 筆記試験 ■ 提出課題</p>					
教科書	特定の教科書は使用せず、授業資料を配布する			事前事後 学習と その内容	SNS・トレンド情報を日常的に収集する習慣を身につける。 課題としてトレンド分析やSNS投稿の制作を行う。	
教材	iPad・スマートフォン SNSアプリ・動画編集アプリ					
特記事項	授業内で制作した作品は、学生本人のSNSアカウント等で活用することを推奨する。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ(仮)	授業内容(仮)
1	SNSとは何か	SNSマーケティングの基本と美容業界での活用事例
2	SNSプラットフォーム理解	Instagram・TikTok・YouTubeの特徴
3	SNSトレンドリサーチ	トレンドの調べ方・分析方法
4	バズ投稿分析	人気投稿の構造分析
5	SNS写真コンテンツ	写真投稿の構図・撮影
6	SNS動画コンテンツ	ショート動画の構造
7	中間テスト	投稿分析・SNS理解度テスト
8	美容SNS研究	美容・コスメアカウント分析
9	ファッションSNS研究	アパレル・コーデ投稿分析
10	カフェ・ライフスタイル投稿	ロケーション投稿研究
11	SNS撮影演習	撮影実習
12	SNS編集演習	動画・画像編集
13	投稿制作	SNS投稿制作
14	投稿分析	インサイト分析
15	期末発表	投稿作品プレゼン

科目名 (英)	ヨガ yoga	年次	1	実務経験	担当	藍智美
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティー科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2		曜日・時間	水4
講師紹介	フィットネスインストラクター、パーソナルトレーナーとしての経験を積み、ヨガ、ピラティス等の講師育成、フィットネスプログラム開発に取り組んでいる。ヨガの知識やポーズだけでなく現代社会においてウェルビーイングを高める授業を行う。					
目的 科目概要	リラックス、リフレッシュを目的とし、実技を中心に行う。学生生活はもちろん、卒業後も各自にあったヨガに取り組めるよう学ぶ。ヨガは体幹を鍛え、基礎体力の向上や心身ともにリフレッシュができるため、学習効率も上がることが期待できる。実技がメインで継続することで心身の変化を得られるので、積極的に授業に臨んでほしい。					
到達目標	ヨガを通して、心と身体のセルフコントロールを身につける。ヨガの理論を概観して、自身に気づき・整え・心身の向上を習得。ポーズを実践することで、柔軟性や体力の向上を目指し、見られる美しい姿勢を保つ。呼吸や瞑想で、集中力をつけ穏やかで活気に満ちた気持ちのコントロールを高めることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	演習形式で授業を行う。		
教材	Teamsにて随時共有					
特記事項	動きやすい服装(開脚や脚を上げることを妨げない)で受講。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	ヨガを体験し、参加者同士で意見を述べる。現時点での自身の改善課題を見つける。
2	アライメントチェック	正しい姿勢を理解し、筋力不足がどこにあるか予測。相手の姿勢評価をし修正を提案する。
3	ヨガの基礎知識① パワナムクタアサナ	ヨガの成り立ちや歴史、思想を理解し説明できる。
4	ヨガの基礎知識②	基本原理の八支則を理解し、日常の取り入れかたを考察できる。
5	プラーナヤーマ ムドラー	代表的な呼吸法を実践できる。ムドラーの意味を述べることができる。
6	骨盤の動き 前屈と後屈のポーズ	骨盤の動き、解剖学を理解しプラクティスに応用できる。
7	背骨の動き 捻りのポーズ	背骨の動き、解剖学を理解しプラクティスに応用できる。
8	今までの授業の振り返り、中間テスト	今までの学習がアウトプットできるようになっているか評価する。
9	マインドフルネス(瞑想)	マインドフルネスのプラクティスを生活に応用できる。
10	アクティブなヨガ 自律神経	パワーヨガなどのアクティブなヨガを知り、自律神経との関わりを説明できる。
11	リラクスのヨガ 自律神経	陰ヨガなどのリラックスするヨガを知り、自律神経との関わりを説明できる。
12	陰陽 ヨガと食事	陰陽の性質を理解し、生活に取り入れ選択することができる。
13	チャクラ アロマの効果	チャクラを理解しヨガで体感してみる。アロマの取り入れ方を知る。
14	チャレンジポーズ	アクロバティックなポーズのメカニズムを理解し、プラクティスに必要なポーズを選択できる。
15	総まとめ 定期試験	習得できた内容を確認し深める。

科目名 (英)	グローバルサービス Global Services	年次	1	実務経験	担当	韓国語:クオン ジン 英語:アンドリュウ
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科	トータルビューティ科	単位	2	有	開講区分	後期
					曜日・時間	金曜4限
講師紹介	語学教育の経験があり、様々な学校の学生様から企業様まで幅広い世代に語学を教えております。生徒の皆さんが語学や文化に興味を持ってくれるような授業を展開していきます。					
目的 科目概要	英語:海外モデルとのコミュニケーションをとる事ができ、メイクスキルに必要な英語での表現を習得する 韓国語:言語を通して異文化理解に努め、韓国語で挨拶や身の回りの言葉が話せるようになる					
到達目標	外国人接客に必要なコミュニケーションをとることができるようになる。(英語・韓国語)					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	English for Beauticians(8週目授業から使用)					
教材			事前事後 学習と その内容			自宅です習・復習を行うこと。
特記事項	教科書、ノート、筆記用具を持参し、配布されたプリントはファイルに取っておくこと。 先生が板書した内容を丁寧にノートに取ること。積極的に授業に参加してください。 授 業					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	【韓国語】基本母音と子音 / 挨拶・自己紹介	ハングルに興味を持たせる ハングルの仕組を理解しよう 自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ
2	【韓国語】合成母音とパッチム / 挨拶・自己紹介(復習)	ハングルを使って自分の名前を書けるようになる ハングルを読めるようになる 自己紹介・自身の仕事について紹介出来るようになる
3	【韓国語】基本文法 / 簡単な日常会話	普段使える簡単な日常会話を学ぶ 簡単な意思疎通をとれるようになる
4	【韓国語】基本文法 / 韓国コスメについて	基本文法を使うようになる 韓国コスメや流行のヘアメイクについて学ぶ
5	【韓国語】コミュニケーションをとろう	学んだ基本文法を使ってコミュニケーションを取る 韓国人のお客様と簡単な会話ができる
6	【韓国語】復習	定期テストに向けて復習を行う
7	【韓国語】中間試験	中間試験
8	【英語】挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
9	【英語】電話対応/飛び込み客	電話予約の表現を学ぶ 電話で予約を承ることが出来るようになる 飛び込み客への対応の表現を学ぶ 飛び込み客の対応が出来るようになる
10	【英語】お客様への質問	丁寧な質問の仕方を学ぶ お客様に失礼のない質問が出来るようになる
11	【英語】道案内	道案内の表現を学ぶ サロンまでの道案内が出来るようになる
12	【英語】会計	会計の表現を学ぶ 会計をすることが出来るようになる
13	【英語】施術中	会話を続ける方法を学ぶ お客様と雑談出来るようになる
14	【英語】復習	定期テストに向けて復習を行う
15	【英語】定期試験	定期試験